

## 定例記者会見

日時 令和5年6月8日（木）

午前10時から

場所 市役所3階 大会議室

### 1 市長あいさつ

記者の皆様には、日頃より越前市政の推進にお力添えをいただき、改めて厚くお礼申し上げます。

いよいよ、大河ドラマ「光る君へ」の撮影が京都市で始まりました。関係者の話によると、越前市での暮らしの様子も一つの転機ととらえてドラマの中で出てくるということでしたので、大変期待しているところです。

先月、そういったことも含めて、杉本知事と一緒にNHKへ要望に行ってまいりました。県内でのエピソードを盛り込む、あるいは、番組の後の紀行のところで、いろいろなものを取り上げていただきたいという願いをしてきたところです。

今週土曜日には、紫式部に関連する宇治市、大津市の市長が越前市にお見えになり、連携協定を締結しますのでご取材お願いしたいと思います。

また、本日の発表項目にもありますが、同じく紫式部に関連する国府の発掘プロジェクトをスタートさせるということで、既に市民の団体の方が自ら勉強会を開催するなど、徐々に自主的な活動も活発化してきており、大変うれしく思っております。市も一緒に大いに盛り上げていきたいなと思っております。

### 2 発表項目

#### 1 令和5年度6月補正予算（案）の概要（資料1）

本年度の6月補正予算案は、新型コロナウイルスワクチン接種事業のほか、コミュニティ助成事業など助成金の採択を受けて、歳入、歳出予算を計上したものです。国や県の補助を受けて行う事業についても計上しています。

補正額は2億5,848万5千円です。去年は子ども園関係の入札関連

の減額がありましたので、単純に比較はできませんが、前年度と比べ4,600万ほどの減額となります。

このうち最も大きな予算は新型コロナウイルスワクチン接種事業で、今回の補正予算の8割を占めています。

今年3月に国からワクチン接種の方針が示されまして、今年度も引続き、自己負担なしで接種いただけることになりましたので、接種体制を構築するうえで必要な予算を計上しています。

5類に移行しましたので、感染対策に関しては個人判断となりましたが、ワクチン接種は、感染や重症化を予防する効果が国においても確認されていますので、市民の皆様にはそういった重症化の観点からぜひ接種をお願いしたいと考えております。

今回の補正予算には計上しておりませんが、物価高騰対策については、今、まさに県が6月補正予算の協議中でありますので、その状況をみながら、その連携とか、上乘せするのか、横出しにするのか議論していますので、まとまり次第、議会と相談のうえ、今議会の会期中に、追加補正を考えています。

## 2 越前国府発掘調査市民ボランティア募集（資料2）

9月から本興寺境内において、発掘調査に着手いたします。

発掘調査に市民のみなさんに参加していただくことで、ふるさとへの誇りや愛着が形成されるというようなことを考えています。今回、市外、県外からも参加者が来られることも想定されますが、

その中で、市民発掘調査ボランティア「越前国府見つけ隊」と銘打っていますが、ボランティアの方を募集いたします。

ボランティアの皆さんには、事前に講習会を受けていただき、国府あるいは発掘調査とはどんなものなのかを理解を深めていただいたうえで、楽しみながら国府解明を一緒に行っていきたいと考えています。

## 3 質疑要旨

【質問】国府発掘プロジェクトですが、今までにどこにあったのかという調査はしなかったのですか。

【回答】これまでの調査は、平成8年に式部が越前に来て1000年の節

目に「紫式部千年祭」という事業をきっかけに発掘調査を行いました。それ以外は、中心市街地のところで試掘という形で小規模な調査を行いました。

**【質問】** 今回、本興寺境内ということですが、何か意味があってここを調査するということですか。

**【回答】** 本興寺を調査することに至った経緯ですが、昔から本興寺が越前国の所在地ではなかったのかという言い伝えがあり、その後、研究者によって、いろいろ諸説はでてきたが、原点に立ち返り、まずは本興寺からということになりました。併せて、本興寺の方もご協力したいとのご厚意もあったことから、このようになりました。補足すると、武生のまちの場合は、国府以外もずっと同じところで歴史が積み重なっているのです、大々的な発掘はそもそも難しい。個別に家を壊したなど、そういったときに、掘らしていただいています。今回、本興寺が可能性が高いと言われているところで、発掘を了承いただいたので、紫式部で盛り上がるこの機会に大々的に発掘調査が始まったということです。なかなか、これまで、これという決め手となるものが見つかっていませんので、今回、たどり着きたいなと思っています。

**【質問】** 決め手というと、ある程度、遺構が見つかるだとかそういったことになるのですか。

**【回答】** 国府の中に国庁という行政の中心施設があるのですが、その施設の柱の跡が残っていたり、施設の名称を書いた墨書土器が出てくるのが決め手となります。

**【質問】** どれくらいの深さまで掘ると出てくるものなのでしょうか。

**【回答】** 昨年度中に目途をつけるために部分的に掘ってみましたが、大体、深さ150cmのところから、昔の地盤が出てきました。この面が奈良・平安時代の層なので、ここで遺構を探していきます。

**【質問】** 国府に紫式部がいた可能性はあるのでしょうか。

**【回答】** 国府の中に国庁と呼ばれる施設と、国司が住んでいた国司館もありました。国司館は紫式部がお父さんたちと住んでいた、そしてお父さんは国庁で仕事をしていたので、国府の周辺を訪れていたと考えられます。

【質問】 越前国府はいつからいつまでですか。

【回答】 主に奈良時代、平安時代です。紫式部は996年にいたということですので、その後ももうしばらく、700年代から1100年くらいまで、鎌倉時代になる前までこの辺りにあったと思われま

す。  
【質問】 なにかしらこれが紫式部のお父さんが勤めたという確認がとれるものがあるかもしれないということですか。

【回答】 一番確実なものは、国司館や国府の施設を示した文字資料が出てくれば、確実に式部と繋がると考えています。

【質問】 想定されている国府の広さはどれくらいでしょうか。

【回答】 通例では、国内では約800m四方です。最近の研究では、国や年代によってまちまちであるので、そういった固定概念にこだわらずに調査を進めていきたいと考えています。土地によって傾向があるので、掘ってみないとなかなか分からないところがあります。

【質問】 越前国府の研究をされている方はいらっしゃいますか。

【回答】 市史編さん委員長をされている真柄甚松先生。ご自分で書籍を出版されています。

【質問】 10日の協定だが、具体的にこういうところでタイアップしていきたいということはあるですか。

【回答】 三市でやっていくことは、魅力発信と観光周遊を考えていまして、ホームページの作成やSNSでの発信、周遊策として、スタンプラリーや謎解きなど、3市をめぐるような企画を考えていきたいと思っています。

補足としまして、これまで、例えば宇治市だと、古典の日のイベントなど、それぞれでやっている部分があるので、人の交流とかできれば子どもさんの交流だとか、紫式部プロジェクトとしての魅力発信をそれぞれやっていきます。

【質問】 期間としては、大河ドラマ放送期間中は力を入れて何かをやっていく、それとも、終わった後も続けていくのでしょうか。

【回答】 越前市、宇治市、大津市は紫式部にゆかりのあるところで、古典の日というところでもともと繋がりはあるのですが、大河ドラマ館の放送期間中、特に強化して連携してやっていこうということで協定

については2年間の取組み強化の協定ということになっています。  
補足として、それをきっかけとして末永くやっていけたらいいな  
と思います。

【質問】発掘期間は9月から10月ということだが、1月から放送が始まる中で、理想としてどれくらいのタイミングで結果がまとまって打ち出せるのか、描いている展開はありますか。

【回答】放送が始まるくらいに、こういうのが出ましたと発表できるの  
いいが、掘ってみないと分からないので、ご期待ください。  
補足として、恐竜だと、発掘した後に論文ができて、タイミング  
をみはからって発表したりしているが、そういう意味では、見つ  
かった後に専門家に鑑定していただいたり、根拠をとってからの  
発表になります。

【質問】根拠をとるところまでいくのはどのくらいかかるのでしょうか。

【回答】調査期間としては、5年間続けるが、最初の段階で早く出て欲  
しいと思っています。

【質問】本興寺を掘ってみて、その後もやっていくということでしょうか。

【回答】本興寺の状況を見ながら、拡張や境内内の他の場所、本興寺以外  
の場所もこれから探しながら、来年度以降の計画をたてていき  
たいと考えています。

これまで発掘に協力していただいていたところもあったのですが、  
こういう形でプロジェクトが進むことによって、他からも掘って  
いいよというところが出てくるのもこのプロジェクトの狙いでも  
あります。本興寺を初めにやって、他の場所も同じようにやれると  
非常にいいなと思います。